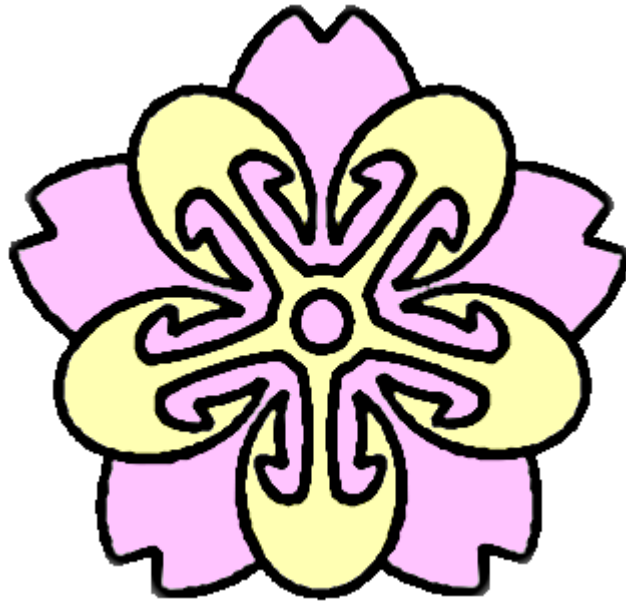


令和6年度

横須賀水交会定期総会資料



令和6年6月6日(木)

横須賀水交会

第1号議案

令和5年度活動報告

自:令和5年4月1日

至:令和6年3月31日

令和5年度の本会活動は、令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が「5類」に指定されることに伴い、各種の事業をコロナ前に戻すべく企画した上で、年度活動計画に従い以下のとおり推移した。

第1 会の構成

- 1 会員 令和5年4月1日 845名(うち法人3社)
令和6年3月31日 870名(うち法人3社)
(新入会員50名(うち法人0社)、支部間移動5名増、物故会員18名、退会者12名)
- 2 役員 令和5年6月1日 顧問7名 幹事61名 監査幹事2名

第2 活 動

1 海洋安全保障思想の普及

(1) 横須賀夏季防衛講座

8月19日、横須賀地区防衛諸団体共催(幹事:当会)により記念艦「三笠」講堂において、現役自衛官を含む来賓及び各団体会員174名が参加し、岩田清文元陸上幕僚長による「日本の安全保障と課題～台湾・日本有事に備え、戦争を抑止する～」と題した講演を実施した。

その後、コロナ禍によって4年振りとなった納涼懇親会を「神奈川歯科大学学生食堂」にて実施した。

(2) 新聞発行等

4月、11月の2回「横須賀水交会新聞」を発行し、折々の話題や活動状況等を会員に伝達するとともに、本部発行の「水交」(支部だより)に記事を投稿した。

(3) 防衛関係諸団体との交流

横須賀市等地方自治体及び防衛関係諸団体が主催する関連行事に参加し、防衛関係諸団体との連携維持を図った。

(4) 横須賀水交会防衛講座

9月30日及び令和6年3月2日の2回、ヴェルク横須賀第3研修室において実施した。第1回は、永田美喜夫元潜水艦隊司令官(当会会長)による「潜水艦が少しでも身近に感じられるようになる7つのお話」と題した講話で36名が参加した。また、第2回は宅間秀記元在サウジアラビア王国防衛駐在官(当会常務幹事)による「防衛駐在官のおしごと～サウジアラビア勤務から～」と題した講話で23名が参加した。両日とも、講話に引き続き、懇談会を実施した。

2 海上自衛隊等への協力支援

(1) 遠洋練習航海部隊の激励

5月10日横須賀寄港に際し実施された入港歓迎行事及び横須賀市・横須賀市議会・横須賀防衛協会・横須賀商工会議所・横須賀地方総監部共催による壮行会に会長等が参加した。壮行会終了後は場所を移し、司令官、各艦長、前任伍長等を招いて当会主催歓迎夕食会を実施した。

また、5月25日出国行事に会長等が参加し部隊を見送り、10月20日帰国行事でも部隊を出迎えた。

- (2) 海外派遣部隊の激励
4月10日「しらせ」帰国行事に会長等が参加し、出迎え乗組員の労をねぎらった。また、5月31日インド・太平洋派遣部隊(指揮官:西山第1護衛隊群司令、いずも)、6月3日海賊対処行動水上部隊(いかづち)、11月10日「しらせ」の出国行事に会長等が参加し、部隊を見送った。さらに、12月16日海賊対処行動水上部隊(いかづち)帰国行事に会長等が参加して部隊を出迎えた。
- (3) 横須賀教育隊入隊式・修業式
横須賀教育隊で実施された新入隊員等の入隊式・修業式に会長等が計6回参列し隊員を激励した。
- (4) 横須賀教育隊練習員等成績優秀者の激励
横須賀教育隊の修業式において、成績優秀者(計7名)に対し会長から賞状及び記念品を贈呈した。
- (5) 体育競技等の支援・激励
10月12日海自フットサル大会が横須賀教育隊及び武山駐屯地にて開催され、来賓として会長が出席、また、水交会理事長代理として松下幹事長が出席した。
なお、前夜、メルキュールホテルで海自指揮官等との懇親会が開催され、会長、幹事長が出席した。
- (6) 自衛艦旗授与・返納行事等
10月24日掃海艦「のうみ」命名・進水式に会長等が参列した。
また、令和6年3月10日第41掃海隊廃止関連行事に幹事長等が出席した。
さらに、同3月29日潜水艦「じんげい」横須賀初入港行事に会長等が参加し、部隊を出迎えた。
- (7) 部隊記念行事
11月2日横須賀地方総監、横須賀防衛協会及び当会会長共催による自衛隊記念日祝賀会が横須賀地方総監部厚生センターにおいて実施され、横須賀地区に在籍する陸・海・空自衛隊の部隊指揮官・前任伍長、横須賀市長等との交歓、親睦等を図った。
- (8) 部隊研修
10月16日、護衛艦「いずも」体験航海に対し、有志会員等に対する研修を企画し海自広報を支援したほか、該当する支援はなかった。
- (9) 募集業務に対する支援
コロナ禍のため、活動が制約された。
- (10) 退職隊員の再就職への情報提供
横須賀地方総監部援護業務課との連携維持を図った。
- (11) 防衛大学校留学生の激励
コロナ禍のため、取り止められた。
- (12) 災害派遣部隊の激励
該当する災害派遣はなかった。
- (13) 隊員留守家族支援
6月15日総監部厚生課を会長等が訪問し、今年度の家族支援に関する意見交換を実施し、3/四半期からの支援再開を期して感染状況等を確認していたが、コロナ以外の複数種の感染症(インフルエンザ、RSウイルス感染症等)が下火にならず年度内の再開を断念した。引き続き体制を維持し、再開時期について感染状況の確認・再開に関する検討を継続する。
- (14) 地方隊実施行事の支援
11月2日自衛隊記念日祝賀会が実施され、会計業務を実施することで地方隊実施行事を支援した。また、令和6年3月20日横須賀地方隊「春の集い」を共催し、受付時の会計業務を実施することで地方隊実施行事を支援した。
- (15) その他
11月末、2024年水交会カレンダーを横須賀所在部隊指揮官に配布した。

3 慰霊顕彰等

(1) 「浜空鎮魂の碑」慰霊祭

4月2日横浜富岡総合公園で実施され、一部の会員が参列した。

(2) 馬門山海軍墓地墓前祭

5月13日は雨天のため、大津行政センターにおいて開催された。当会及び隊友会横須賀支部、大津地区社会福祉協議会等との共催による墓前祭に会長以下約15名が参列し、祖国のため散華された英霊の御霊に哀悼の意を表した。

(3) 「海軍の碑」記念行事

5月27日ヴェルニー公園内「海軍の碑」前において会長以下15名が参列し、海軍の業績を偲ぶとともに英霊の追悼と永遠の平和を希求して祈りを捧げた。終了後、「海軍の碑」近傍で中尾顧問による戦史講話を実施した。

(4) 英霊にこたえる会

8月15日英霊にこたえる会主催の全国戦歿者慰霊大祭の参加規模縮小に伴い、神奈川県戦没者追悼式に会長が参列した。

(5) 殉国六十烈士慰霊祭

10月20日、横浜市南区久保山町の「光明寺」で開催された慰霊祭(神奈川県郷友会主催)に幹事長が参列した。

(6) 横須賀地区殉職隊員追悼式

11月2日横須賀地方総監部で執行された横須賀地区殉職隊員追悼式に会長が参列した。

(7) 靖國神社等月例参拝

6月22日及び令和6年2月15日靖國神社及び千鳥ヶ淵戦没者墓苑の参拝に会長等が参列した。また、参拝後、直会を実施した。

4 地域社会活動への寄与

(1) 日本海海戦記念行事

5月27日記念艦「三笠」において実施された日本海海戦118周年記念式典に会長等が参列した。

(2) 洋上懇談会

該当なし。

(3) 賀詞交歓会

令和6年1月13日横須賀商工会議所において7団体共催により実施された防衛協力団体合同賀詞交歓会(幹事:隊友会横須賀支部)に会長等が参加し、新春の賀詞を交歓するとともに、部隊指揮官、前任伍長等の自衛隊参加者を激励した。

(4) 地方自治体主催行事への参加

4月8日塚山公園にて横須賀市主催の三浦按針祭観桜会が行われ、会長が参加した。また、11月11日ヴェルニー公園にて、ヴェルニー・小栗祭が行われ、水交会理事長代理として永田会長及び横須賀水交会から山岡広報担当が参列した。

令和6年1月4日横須賀アリーナにおいて実施された横須賀市、横須賀市議会及び横須賀商工会議所合同の賀詞交歓会に会長が出席した。

(5) 諸団体との交流

令和6年1月8日横浜市関内において神奈川県隊友会等の賀詞交歓会が、また、同9日横須賀市内大滝町において湘南信金賀詞交歓会が実施され、会長が参加した。

5 会勢拡充及び広報活動

(1) 水交会啓蒙活動及び会員の獲得

海上自衛隊 OB 及び OB 以外の有志に対し、機会を捉えて水交会に対する理解と認識を深めるための説明を実施し新会員50名(うち有志会員32名)の入会を得た。

(2) 中級管理講習及び教育隊説明会

7月7日及び12月22日、第2術科学校での中級管理講習において、水交会の目的、現状、

活動状況等について紹介した。

(3) ホームページの整備

タイムリーな更新と内容充実に努めており、横須賀水交会の紹介とともにその活動状況等を部内外に広報し、会員相互の意思疎通にも大きな役割を果たしている。

(4) 水交誌等への投稿

機会を捉えて横須賀水交会の活動状況等について投稿した。また、SNSへの投稿も積極的に行った。

6 会員相互の親睦・啓発

(1) ゴルフ大会

6月5日及び11月15日に南総ヒルズCCにて開催し、参加者はそれぞれ20名、21名であった。

(2) 同好会活動

ア 卓球同好会

毎月第1、第3土曜日、横須賀市北部体育館での活動し、一般市民との交流も活発に実施した。

イ カード同好会

現会員数は13名であり、毎月第2、第4土曜日を標準として、横須賀総合福祉会館等で活動し、毎回概ね2組でプレイした。

(3) レクリエーション活動

該当なし。

(4) 退職隊員再々就職の情報提供等支援

退職隊員の再々就職について、隊員出身者の採用に熱心な企業の協力を得て希望者に情報を提供した。

(5) 有志会員の部隊研修

10月16日約40名が参加して体験航海(護衛艦「いずも」による横須賀港外まで航行)を実施した。

(6) クリスマスコンサート

12月1日、本部企画のクリスマスコンサートに松下幹事長ほか会員数名が参加した。

7 管理業務等

(1) 定期総会

6月1日、「よこすか平安閣」で開催し、令和4年度活動報告、令和5年度役員の選任及び活動計画について了承を得た。総会終了後、横須賀地方総監の講演に引き続き懇親会を行った。

(2) 幹事会

第1／四半期を除く各四半期(計3回)に開催、各四半期の事業実績・事業計画等について審議し適正な会務運営を図った。

(3) 常務幹事会

各行事の開催予定等も考慮して計4回招集、会務運営の円滑化に努めた。

(4) 支部長会議

7月21日オンラインにて開催された支部長会議に会長が出席した。

(5) 事務局運営

諸機関調整、会計処理等の他、会員の叙勲者に対して祝電を、また物故者に対しては弔慰金を贈るとともに遺族の意向に従って自衛艦旗の貸し出しを行った。

第3 令和5年度収支決算報告

別表第1のとおり。

令和5年度活動実績

1 海洋安全保障思想の普及

期 日	事 業 等	場 所
4月、11月	新聞発行	
5.27	隊友会横須賀支部総会	
6. 9	横須賀防衛関係諸団体の長会議	横須賀商工会議所
6.15	横須賀防衛協会総会	横須賀商工会議所
7.21	支部長会議	オンライン
8.19	横須賀夏季防衛講座	記念艦「三笠」講堂
9.30 6.3.2	横須賀水交会防衛講座	ヴェルク横須賀
12.7	JANAF A 定例懇親会	よこすか平安閣
12.21	横須賀防衛関係諸団体の長会議・懇親会	横須賀市内

2 海上自衛隊等への協力支援

期 日	事 業 等	場 所
通 年	横須賀教育隊修業式(計4回)	横須賀教育隊
通 年	横須賀教育隊成績優秀者の激励(計7名)	横須賀教育隊
通 年	退職隊員の再就職への情報提供	
通年	ファミリーサポート家族交流会	横須賀地方総監部
5.10	遠洋練習航海部隊入港歓迎行事	逸見岸壁、平安閣等
5.25	遠洋練習航海部隊出国行事	晴海
5.31	インド太平洋方面派遣部隊(いずも)出国行事	逸見岸壁
6. 3	海賊対処行動水上部隊(いかづち)出国行事	船越
10.12	海自フットサル大会の激励	横須賀教育隊・武山駐屯地
10.20	遠洋練習航海部隊帰国行事	逸見岸壁
10.24	掃海艦「のうみ」命名・進水式	JMU 鶴見工場
11. 2	自衛隊記念日行事	横監厚生センター
11.10	「しらせ」出国行事	逸見岸壁
12.16	海賊対処行動水上部隊(いかづち)帰国行事	逸見岸壁
6.3.10	第41掃海隊廃止関連行事	逸見岸壁
6.3.20	横須賀地方隊「春の集い」	横監厚生センター
6.3.29	潜水艦「じんげい」初入港行事	吉倉岸壁

3 慰霊顕彰等

期 日	事 業 等	場 所
4. 2	浜空鎮魂の碑慰霊祭	富岡総合公園
5.13	馬門山海軍墓地墓前祭	大津行政センター
5.27	「海軍の碑」記念行事	ヴェルニー公園
6.22 6.2.15	靖國神社等参拝	靖國神社、千鳥ヶ淵墓苑
8.15	神奈川県戦没者追悼式	神奈川県戦没者慰霊堂
10.20	殉国六十烈士慰霊祭	久保山「光明寺」
11. 2	横須賀地区殉職隊員追悼式	横須賀地方総監部

4 地域社会活動への寄与

期 日	事 業 等	場 所
通 年	諸団体との交流	適宜
4. 8	三浦按針祭観桜会	塚山公園
5.27	日本海海戦 118 周年記念式典	記念艦「三笠」
11.11	ヴェルニー・小栗祭	ヴェルニー公園
6.1. 4	横須賀市合同賀詞交歓会	横須賀アリーナ
6.1. 8	神奈川県隊友会等合同賀詞交歓会	かながわ労働プラザ
6.1. 9	湘南信金賀詞交歓会	横須賀市内
6.1.13	横須賀防衛団体賀詞交歓会	横須賀商工会議所

5 会勢拡充及び広報活動

期 日	事 業 等	場 所
通 年	水交会啓蒙活動	適宜
7. 7 12.22	中級管理講習	第2術科学校

令和5年度収支決算報告

自 令和5年4月 1日
至 令和6年3月31日

(単位：円)

区 分	令和5年度収支予算	令和5年度収支決算	備 考
【収 入】			
本部助成金	759,000	751,000	(寄付金収入内訳)
寄付金収入	300,000	212,221	総 会 82,438
広告料収入	10,000	0	幹事会等 102,000
前期繰越	346,290	346,290	防衛講座 14,143
利息等	0	3	会員有志 13,640
収 入 合 計	1,415,290	1,309,514	
【支 出】			
(事 業 費)	950,000	818,547	
旅費交通費	0	0	
通信運搬費	350,000	340,718	
消耗品費	50,000	33,135	
印刷製本費	180,000	179,102	
慰霊援護費	50,000	44,313	
諸 謝 金	0	0	
海自支援費	60,000	22,199	
友好団体交流費	200,000	179,080	
会運営費	60,000	20,000	
(管 理 費)	140,000	132,478	
会 議 費	20,000	18,810	
旅費交通費	90,000	85,000	
慶 弔 費	30,000	28,668	
(予 備 費)	325,290	0	
支 出 合 計	1,415,290	951,025	
次 期 繰 越		358,489	
合 計	1,415,290	1,309,514	

監 査 報 告

監査の結果、正常に処理されており、異常のないことを確認いたしました。

令和6年4月1日

監査署名

道家 一成 

監査署名

大久保 文男 

令和6年度役員等名簿

役 職			氏 名	備考	役 職	氏 名	備考
顧問			松崎 充宏	/	幹事	安 齋 勉	○
顧問			佃 剛	/	幹事	池田 徳重	
顧問			長崎 嘉徳	/	幹事	石井 順	※
顧問			土井 克彦	/	幹事	石山 三平	○
顧問			中尾 誠三	/	幹事	井上 力	
顧問			加藤 保	/	幹事	内嶋 修	※
顧問			永田 美喜夫	※	幹事	大竹 誠二	○
顧問			本多 一雄	※	幹事	大津 雅紀	○
監査幹事			道家 一成		幹事	岡 枝渡子	○
監査幹事			大久保 文男		幹事	勝目 純也	※
幹事	会長		松下 泰士	※	幹事	上原子 克則	○
幹事	副会長		服部 雅光		幹事	木下 富貴美	
幹事	副会長		高橋 進		幹事	小柳 千恵子	
幹事	副会長		道満 誠一	※	幹事	佐々木 俊也	○
幹事	事務局長		一瀬 良文		幹事	佐野 恭子	○
幹事	幹事長		中西 正人	※	幹事	清水 利広	○
幹事	常務	総務総括	松本 幸一郎		幹事	篠原 研司	
幹事	常務	総務	在原 政夫		幹事	清水 基晴	○
幹事	常務	総務	川上 雅永	※	幹事	白川 久美一	○
幹事	常務	総務	乾 悦久	※	幹事	徳丸 伸一	
幹事	常務	総務	高野 幸美		幹事	鳥居 真紀	○
幹事	常務	総務	関 秀之	※	幹事	中塚 久雄	○
幹事	常務	企画総括	眞鍋 浩司		幹事	中西 啓	○
幹事	常務	企画	星野 正彦		幹事	新倉 成是	○
幹事	常務	企画	大野 慶二		幹事	初谷 龍夫	○
幹事	常務	企画	宮路 貴幸		幹事	濱田 暢喜	○
幹事	常務	企画	乳井 三治		幹事	廣江 清	○
幹事	常務	企画	藤原 美知也		幹事	道脇 信之	○
幹事	常務	企画	泉 博之	※	幹事	宮崎 道夫	○
幹事	常務	親睦	迫 幸一郎		幹事	柳井 誠也	
幹事	常務	会員	桂 眞彦		幹事	吉川 榮治	○
幹事	常務	会勢	吉岡 俊一		幹事	吉田 かをり	○
幹事	常務	会勢	高橋 正美	※			
幹事	常務	広報総括	山岡 鉄司				
幹事	常務	広報	宅間 秀記				
幹事	常務	広報	檜森 晃治				
幹事	常務	広報	田村 久幸	※			
幹事	常務	会計	日向 ゆみ子				

備考欄 ○：再任、 ※：新任又は担当の変更、空欄：任期内

第3号議案

令和6年度活動計画

自:令和6年4月 1日

至:令和7年3月31日

水交会本部の「令和6年度事業計画」に基づき、横須賀水交会の令和6年度活動計画を以下のとおりとする。

1 方針

次を重点に地域特性を活かした活動を行う。

- (1) 海洋安全保障思想の普及
- (2) 横須賀所在の海上自衛隊等の施策・活動に対する協力支援
- (3) 海上防衛活動等における戦没者・殉職者の慰霊顕彰及び遺族等の援護
- (4) 地域社会活動への寄与
- (5) 会勢拡充及び広報活動の充実
- (6) 会員相互の親睦・啓発

2 活動等

区分	内容	時期	記事
1 海洋安全保障思想の普及	1-1 横須賀夏季防衛講座	9月	
	1-2 新聞発行	4、11月	
	1-3 防衛関係諸団体との交流	通年	
	1-4 横須賀水交会防衛講座	3、7、11月	年3回を基準
2 海上自衛隊への協力・支援	2-1 遠洋練習航海部隊の激励	5月	指揮官等激励会
	2-2 海外派遣部隊の激励	通年	
	2-3 横須賀教育隊入隊・修業式	通年	
	2-4 横須賀教育隊練習員等成績優秀者の激励	通年	
	2-5 体育競技等の支援・激励	通年	
	2-6 自衛艦旗授与・返納行事等	通年	
	2-7 部隊記念行事	通年	
	2-8 部隊研修	10月	
	2-9 募集業務に対する支援	通年	
	2-10 退職隊員の再就職への情報提供	通年	
	2-11 防衛大学校留学生の激励	6月	
	2-12 災害派遣部隊の激励	通年	
	2-13 隊員留守家族の支援	通年	
	2-14 地方隊実修行事の支援	通年	

3 慰霊顕彰等	3-1 浜空鎮魂の碑慰霊祭	4月	
	3-2 馬門山海軍墓地墓前祭	5月	
	3-3 「海軍の碑」記念行事	5月	
	3-4 神奈川県戦没者慰霊追悼式	8月	
	3-5 横須賀地区殉職隊員追悼式	10月	
	3-6 靖国神社等参拝	6月、2月	
4 地域社会活動への寄与	4-1 日本海海戦記念行事	5月	
	4-2 洋上懇談会	10月	
	4-3 賀詞交歓会	1月	
	4-4 地方自治体主催行事への参加	通年	
	4-5 諸団体との交流	通年	
5 会勢拡充及び広報活動	5-1 水交会啓蒙活動及び入会促進	通年	
	5-2 中級管理講習及び横須賀教育隊説明会	通年	
	5-3 ホームページの維持・管理	通年	
	5-4 水交誌等への投稿	通年	
6 会員相互の親睦・啓発	6-1 ゴルフ大会	6月、11月	
	6-2 同好会活動	通年	
	6-3 レクリエーション活動	通年	
	6-4 退職隊員再々就職の情報提供等支援	通年	
	6-5 有志会員の部隊研修	適時	
	6-6 クリスマスコンサート	12月	
7 管理業務等	7-1 定期総会	6月	
	7-2 幹事会	1回／四半期	1/四半期を除く。
	7-3 常務幹事会	1回／2ヶ月	
	7-4 支部長会議	6月	本部計画
	7-5 事務局運営	通年	・慶弔処理 ・諸機関調整 ・書類・物品管理 ・会計処理

3 令和6年度収支予算
別表第2のとおり。

令和6年度収支予算

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

(単位：円)

区 分	令和5年度収支予算	令和6年度収支予算	備 考
【収 入】			支出予算科目の説明
本部助成金	759,000	762,000	[旅費交通費]
寄付金収入	300,000	300,000	事業費：支部関連交通費
広告料収入	10,000	10,000	管理費：事務局員交通費
前期繰越	346,290	358,489	[通信運搬費]
利 息 等			行事案内、新聞郵送料、切手、 葉書等
収 入 合 計	1,415,290	1,430,489	
【支 出】			[消耗品費]
(事 業 費)	950,000	950,000	事務用品、用紙等
旅費交通費	0	0	[印刷製本費]
通信運搬費	350,000	350,000	新聞、行事案内等
消耗品費	50,000	50,000	[慰霊援護費]
印刷製本費	180,000	180,000	馬門山海軍墓地墓前祭等
慰霊援護費	50,000	50,000	[海自支援費]
諸 謝 金	0	0	教育隊、練艦隊、派遣部隊等激励
海自支援費	60,000	60,000	[友好団体交流費]
友好団体交流費	200,000	200,000	防衛諸団体との交流
会運営費	60,000	60,000	[会運営費]
(管 理 費)	140,000	140,000	同好会支援等
会 議 費	20,000	20,000	[会議費]
旅費交通費	90,000	90,000	幹事会等会場使用料、御茶代等
慶 弔 費	30,000	30,000	
(予 備 費)	325,290	340,489	
支 出 合 計	1,415,290	1,430,489	